

(様式 3)

合流式下水道緊急改善計画 事後評価シート

評価実施年月：令和元年 9 月

1. 対象事業	釜石市 大平処理区					
2. 実施主体名称	岩手県 釜石市					
3. 計画期間	平成 17 年度～平成 29 年度					
4. 対象事業の進捗状況	下記の内容について、計画通りに実施した。 ①汚濁負荷量の削減 ・分流並水質を達成するために、合流区域 37.5ha の内、14ha 分流化した。 ・処理場からの汚濁負荷量削減のため、高速ろ過施設を建設した。 ②公衆衛生上の安全確保 ・未処理放流回数半減のために、合流区域 37.5ha の内、14ha 分流化した。 ・第 1・2 雨水吐き室に設置されている越流堰を 10 cm 嵩上した。 ③きょう雑物の削減 ・きょう雑物を極力除去するため、3 箇所の雨水吐き室にスクリーンを設置した。					
5. 目標達成状況と達成の見通し	【改善目標】 ①汚濁負荷量の削減(分流式下水道並の汚濁負荷量) ・分流並の目標値：91.5t/年 ②公衆衛生上の安全確保(未処理放流回数の半減) ・目標越流回数：第 1 雨水吐き 10 回/年、第 2 雨水吐き 13 回/年、第 3 雨水吐き 10 回/年 ③きょう雑物の削減(きょう雑物の流出防止) ・全雨水吐き室にスクリーン設置  【目標に対する達成状況】					
	改善目標	評価指標	計画当初 2003年(H16年)	改善目標	事後評価	達成状況
	①汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量 (t/年)	96.7	91.5	91.4	目標達成
	②公衆衛生上の安全確保	年間越流回数 (回/年)	67	33	32	目標達成
	③きょう雑物の削減	スクリーン設置箇所 (箇所)	設置箇所なし	3	3	目標達成
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	①汚濁負荷量の削減(分流式下水道並の汚濁負荷量) ・部分分流化及び高速ろ過施設の整備により、分流式下水道並の汚濁負荷量を達成できている。 ②公衆衛生上の安全確保(未処理放流回数の半減) ・部分分流化及び雨水吐き室における堰の嵩上げ等により、年間の未処理放流回数を半減している。 ③きょう雑物の削減 ・雨水吐き室にスクリーンを設置したことにより、夾雑物の流出を防止している。					
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	・SPIRIT21 で開発されたスクリーンの内、設置が容易で電源や制御装置を必要としない無動力型のスクリーンを採用することで、事業の効率化と維持管理費の低減を図った。					
8. 今後の方針	・平成 29 年度の事業完了により、改善目標は達成されている。 ・今後も引き続き、整備した施設の適切な運用と維持管理を行うとともに、継続的に水質調査を行い、放流先となる公共用水域の水質保全に努める。					